

化学物質等安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名(化学名、商品名等) : 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ニホンパイプ (HI管)

会社情報

会社名 : 日本プラスチック工業株式会社

住所 : 愛知県小牧市大字東田中字西田 100-1

担当部門 : 品質保証課

電話番号 : 0568-72-2355 FAX番号 : 0568-73-7987

推奨用途及び使用上の制限 : 水道配管用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	: 分類対象外	
	可燃性／引火性ガス	: 分類対象外	
	可燃性／引火性エアゾール	: 分類対象外	
	支燃性／酸化性ガス	: 分類対象外	
	高压ガス	: 分類対象外	
	引火性液体	: 分類対象外	
	可燃性固体	: 区分外	
	自己反応性化学品	: 分類対象外	
	自然発火性液体	: 分類対象外	
	自然発火性固体	: 区分外	
	自己発熱性化学品	: 区分外	
	水反応可燃性化学品	: 区分外	
	酸化性液体	: 分類対象外	
	酸化性固体	: 区分外	
	有機過酸化物	: 分類対象外	
	金属腐食性物質	: 区分外	
	健康に対する有害性	急性毒性（経口）	: 分類できない
		急性毒性（経皮）	: 分類できない
		急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）		: 分類できない	
急性毒性（吸入：粉塵）		: 分類できない	
急性毒性（吸入：ミスト）		: 分類できない	
皮膚腐食性／刺激性		: 分類できない	
目に対する重篤な損傷性／眼刺激性		: 分類できない	
呼吸器感作性		: 分類できない	
皮膚感作性		: 分類対象外	
生殖細胞変異原性	: 分類できない		
発がん性	: 分類できない		
生殖毒性	: 分類できない		

	特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) : 分類対象外
	特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) : 分類できない
	吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
環境に対する有害性	急性水生環境有害性 : 分類できない
	慢性水生環境有害性 : 分類できない
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル :	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	管を高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがある。 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
注意書き	
安全対策	必要に応じて適切な保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
救急措置	破片を吸入した場合は、鼻かみ・うがいにより出来るだけ取り出し、症状によっては医師の診断を受ける。 破片が眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続けること。洗浄後、医師の診断、手当てを受けること。 管を高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて適切なマスクを着用すること。 眼や喉に異常を感じた場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移動する。また、医師の診察を受ける。
保管	直射日光を避け、熱気がこもらないよう風通しのよい状態で保管する。
廃棄	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し、関連法令を遵守し法令および地方自治体の条例に従って適正に処理する。 焼却する場合は、廃ガス処理装置付きの焼却設備(800℃以上)にて焼却し、又は非危険廃棄物として埋め立てる。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名又は一般名	: ポリ塩化ビニル
化学特性(化学式等)	: $(\text{CH}_2-\text{CHCl})_n$
CAS番号	: 9002-86-2
成分及び濃度又は濃度範囲(含有量)	: 91%以上
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: (6)-66
＜その他の主な成分1＞	
化学名又は一般名	: MBS系ポリマー(不純物及び安定化添加剤含む)
CAS RN	: 25053-09-2
成分及び濃度又は濃度範囲(含有量)	: 3~6%
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 非公開

<その他の主な成分2>

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名又は一般名	: 炭酸カルシウムとステアリン酸亜鉛を主成分とする混合物
化学特性（化学式等）	: 混合物のため特定できない
C A S 番号	: 混合物のため該当せず
成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）	: ステアリン酸亜鉛 1%未満
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	: 非該当
G H S 分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに清浄な水でうがいをする。 高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入したときは、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努める。咳、その他症状が出たときは、医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	常温では危険な物質ではない。 高温の溶融樹脂が付着した場合には、衣服の上から多量の水をかけ十分に冷却し、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	破片が目に入った場合は、直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続けること。異物が目に残るようであれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	多量の清浄な水を飲ませて吐かせる。異常を感じるようであれば医師の診断、手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	: データなし。
火災時の特有の危険有害性	: 火災によって、塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素など、有害ガスの発生が予想されるので空気呼吸器を着用して作業する。
消火を行う者の保護	: 消火作業を行う者は、保護具（ゴーグル型保護眼鏡、耐熱手袋、空気呼吸器等）を着用して、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 常温では危険な物質ではない。 高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入したときは、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努める。咳、その他症状が出たときは、医師の診断、手当てを受ける。 その他、応急措置の項を参照。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和	: 破損により飛散した破片は、掃き集めて、容器等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 常温では危険な物質ではない。
破損すると破片が飛散するおそれがあるため、乱暴な取扱いを避け、丁寧に取扱う。
高温になると変形や破損のおそれがあるため、高温や火気を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 常温では危険な物質ではない。
高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 火気注意。
- ### 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、熱気がこもらないよう風通しのよい状態で保管する。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 設定されていない。
設備対策 : 常温では特に必要ないが、高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて局所排気、全体換気を行う。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 必要に応じて、有機ガス用防毒マスクを使用する。
火災時は空気呼吸器を着用して作業する。
- 手の保護具 : 管端部で手を切るおそれがあるため、滑り止め効果のある適切な保護手袋を着用するのが望ましい。
- 眼の保護具 : 切断時には保護眼鏡（ゴーグル型または側板付きが望ましい）を着用する。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 外観（物理的状態、形状、色など） : 固体、円筒状、グレー
- 臭い : 殆ど無臭
- pH : 該当しない
- 融点 : データなし
- 沸点、初留点と沸点範囲 : 該当しない
- 引火点 : 391°C 1)
- 蒸気圧 : データなし
- 比重（密度） : 1.43
- 溶解性 : 水に不溶。ほとんどの有機溶剤に不溶。但し、THF（テトラヒドロフラン）、シロキサソ、ジメチルホルムアミド等には可溶。
- オクタノール／水分配係数 : データなし
- 自然発火温度（発火点） : 454°C 2)
- 分解温度 : データなし
- 燃焼性 : 酸素指数 約 45%
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常取扱いにおいては安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常取扱いにおいては安定で危険有害な反応性はない。
- 避けるべき条件 : 樹脂が分解するような高温条件。
- 混触危険物質 : 高温物質
- 危険有害な分解生成物 : 高温で樹脂が分解し塩化水素等の有害ガスが発生する。

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データなし
（経皮）	: データなし
（吸入）	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: 分類対象外
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	: 分類できない

1 2. 環境影響情報

生殖毒性	
水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共 団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 焼却する場合は、廃ガス処理装置付きの焼却設備（800℃以上）にて焼却、 又は非危険廃棄物として埋め立てる。
-------	---

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: なし
品名（国連輸送品名）	: 非該当
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
国内規制	
輸送上の要求事項	: 特記事項なし
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。
海上規制情報	: 該当しない
UN No.	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
UN No.	: 該当しない

15. 適用法令

化審法	: 既存化学物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物
労働安全衛生法	: 第57条の2の通知対象物質に該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法)	: 第2条の指定化学物質に該当しない
高圧ガス保安法	: 適用を受けない
消防法	: 非危険物
毒劇物取締法	: 適用を受けない
船舶安全法	: 適用を受けない

16. その他の情報

引用文献

原料メーカーのMSDS

- 1) 伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会(1980) P.116
- 2) 伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会(1980) P.110

その他

- ・危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の実用を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。
- ・この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・この製品安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮下さい。製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制等について事前にご確認ください。
- ・製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の支店・営業所または品質保証課までお願いします。

記載内容の問合せ先

日本プラスチック工業株式会社
愛知県小牧市東田中字西田 100-1
品質保証課
電話番号：0568-72-2355 FAX番号：0568-73-7987